

実例交え「イクボス」解説

さいたままで塚越氏講演

埼玉版「ウーマノミクス」 女性活躍推進

少子高齢化社会の中で求められる「女性活躍」をテーマにした働き方改革講座が9日、さいたま市内で開催され、東レ経営研究所の上席シニアコンサルタントの塚越学氏が、「次世代マネージメント」について講演した。県が推進する埼玉版「ウーマノミクス」プロジェクトの一環。

塚越氏は性別や年齢、価値観の違いなどにかかわらず多様な人材を生かす「ダイバー



シティ」、部下の仕事と家庭の両立を応援しながら組織の成果を出す経営者や管理職「イクボス」などをキーワードに、現代の子育て世代の価

値観や超高齢化社会の中での働き方を語った。

仕事の課題解決について「職場のメンバーが互いの価値観を共有して協力し合う風土が大切」と、実例を示しながらイクボスのポイントを解説。「信頼とコミュニケーション」は仕事の効率化の両輪など、マネジメントの仕方を示しながらワークライフバランスの実現を強調した。

参加した企業関係者は、それぞれの職場で実践可能なイクボス行動を宣言。さいたま市大宮区のIT関連会社の総

イクボスについて、参加社全員で行動宣言。最前列は講師の塚越学氏。9日、さいたま市大宮区のソニックシティ

務担当の女性(53)は「社員
の幸せを会社が支えるとい
点に共感した。社員一人一
を大切にできる会社にして
きたい」と話していた。

(高橋功)